

血液内科学総論

【Hematology and Oncology I】

担当責任者 診療教授（血液内科） 塚田 順一

ねらい

造血幹細胞および血球についての基本的な知識を習得・理解する。
 血液病の病態、血球・凝固の異常および悪性血液腫瘍の特徴を理解する。
 病歴、理学的所見、検査所見より鑑別診断を行い、正しい診断を下す知識を習得する。
 モデル・コア・カリキュラムガイドライン・医師国家試験の出題基準に従った教育を実施する。

学修目標

1. 造血幹細胞および造血因子を理解し、生体における血球産生を説明できる。(II-1, II-2)
2. 血液病の病態メカニズムを理解し、症状・理学所見および検査所見を説明できる。(II-5)
3. 末梢血および骨髓血液像による血球形態から遺伝子検査に及ぶ幅広い診断方法を説明できる。(II-6, IV-4)
4. 抗腫瘍薬、造血薬、免疫抑制薬、サイトカインや輸血を含む血液病の治療方法を説明できる。(II-6, IV-5)
5. 自家・同種造血幹細胞移植の原理を説明できる。(II-6, IV-5)

事前事後学習の方法

1. 事前は指定教科書を通読し、予習課題をまとめておくこと。
2. 事後は講義プリントをよく読み復習し、課題をノートにまとめる。

成績評価方法・基準

1. 復習テスト(5割程度)、理解度チェックのための小テスト(3割程度)、課題に対するレポート(2割程度)の結果を基に、受講態度・出席状況等を加味し、総合的に評価する。
2. 100点満点換算で、A・B・C・D・Fの5段階評価とする。

○教科書

内科学 第11版 矢崎義雄総編集 2017年 朝倉書店
 ハリソン内科学 第5版 福井次矢・黒川清監修 2017年 メディカル・サイエンス・インターナショナル
 ワシントンマニュアル 第13版 高久史麿・和田攻監訳 2015年 メディカル・サイエンス・インターナショナル

○参考書

Wintrobe's Clinical Hematology 14th edition, 2019, Lippincott Williams & Wilkins
 Williams Hematology, 9th edition, 2016, McGraw Hill
 WHO Classification Tumors of Haematopoietic and Lymphoid Tissues, revised 4th edition, 2017, IARC Press

講義:2208講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.10.12	火	1	血球総論	D	1	1,2	塚田 順一
"	"	2	造血幹細胞と造血因子	"	"	1	"
10.19	"	1・2	赤血球減少・増多/汎血球減少と再生不良性貧血(小テスト/レポート)	D/F	1/1	3,4/26	"
10.26	"	"	白血球減少・増多/(急性・慢性)白血病と感染症対策 (※)	D	1	3,4	森本 浩章
11.5	金	3・4	血小板増多・減少/凝固異常による出血傾向・血栓	"	"	"	塚田 順一
11.9	火	1・2	リンパ節腫脹・悪性リンパ腫/成人T細胞白血病リンパ腫	D/F	1/1	3,4/27	"
"	"	3・4	免疫グロブリン異常/骨髓腫・マクロプロブリン血症(小テスト)	D	1	3,4	中西 司
11.12	金	3	血球形態学総論	D/F	1/2	2/3	北村 典章
"	"	4	血液学的検査、染色体・遺伝子検査	"	"	"	"
11.16	火	3	輸血総論/分子標的薬	E	3	3,5	東 丈裕
"	"	4	造血幹細胞移植療法総論と感染症対策(小テスト) (※)	"	"	"	"
11.26	金	3・4	脾腫・慢性骨髓増殖性疾患(レポート)	D	1	3,4	塚田 順一
12.3	"	"	復習テスト・復習テスト解説	"	"	"	"